

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和3年3月28日

事業所名：障害児通所支援 INGENU

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは確保されているが、遊具や布団を出すと動きにくくなるため、必要に応じて出すように配慮している	はい:19 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:4	「わからない」との回答が何件もあったため、利用中に見学に来ていただき、しっかりとスペースが確保されているかをみていただける機会を作る。
	2 職員の適切な配置	必要な職員は配置されており、保育士も常勤にて常駐している	はい:20 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	送迎等でスタッフとの関わりが多いため、評価は良好であった。今後も常に基準以上の職員配置ができるよう努める
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	今年度に庭に屋根を設置し、バギーを置くことができるようになり、スペースが広がった	はい:18 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:4	去年よりも評価は良く、バギーを置く場所ができ、スペースが広がったためと思われる。今後はiPad等を使用し、さらに設備を整えていけたらと考えている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルスの流行後、室内にイオニアミストプロを施工し、毎日の消毒を徹底した。また、プログラムや制作等、活動状況に合わせて空間を確保している。	はい:19 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:3	新型コロナウイルスの影響もあり、消毒、清潔な生活空間の確保を徹底している。今後も安心して心地よく過ごせるような場所を目指す。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員が増え、みんなで利用児童についての目標設定や振り返りを行う機会が増えた		スタッフ自身の個人目標を立て、実施していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない		今後第三者の介入を必要に応じ検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	新型コロナウイルスの影響によりほとんどの研修会が中止となったが、何度かZOOM等を使用し、研修会に参加した		引き続き職員の研修を計画し、実施していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメント時に児童や保護者のニーズを聴取し、分析したうえで課題を挙げ、計画書に取り入れるように努めている		継続して、保護者や児童のニーズや課題に合わせた計画を作成していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童によって個別やグループでの活動を行っているが、新型コロナウイルスの影響により、現在は個別での活動を中心に実施している。	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	新型コロナウイルスの状況が落ち着き次第、集団で直接的な関わりな活動を増やした計画を作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	半年に一度モニタリングや日々の様子を踏まえ、計画書の内容を変更し、支援内容を記載している		継続して具体的でわかりやすい内容を記載できるよう努めていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	デイサービスでの日常生活活動におけるプログラムや制作、個別での適切な支援を実施できるよう努めていく	はい:22 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	継続して計画に沿った適切な支援を実施していけるよう努める
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	新型コロナウイルスの影響により、利用児童全体での活動プログラムが困難となり、少人数や個別での新しいプログラムをみんなで考え、立案している		職員同士の意見交換を活発にし、プログラムを立案を行う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校への直接迎え、休日や長期休暇は保護者や本人の希望される時間に送迎できるように調整しており、利用時間に沿った支援(食事介助等)を実施している	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	学年が上がるにつれて、平日の利用時間が短くなってくるため、利用時間に応じて工夫された支援を提供していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが毎週同じにならないよう調整しており、同じプログラムでも方法を変え、また違った感覚で楽しめる様工夫している		継続して活動プログラムが固定しないよう工夫しながら支援を行っていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に来所してからの流れや支援内容、役割分担を確認している		継続して支援開始前に活動プログラムや役割の確認を徹底し、児童に合った支援を行っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に児童の様子や送迎時に保護者から聴取した内容を職員間で共有できるよう努めている		支援終了後に職員間で振り返り、反省点などの情報共有に努める
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳を毎日複写にて残しており、その他気になること等あれば、特記事項として記載するようにしている		継続して日々の連絡帳にわかりやすく正確な記録を書くよう徹底していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	新型コロナウイルスの影響により、直接来所していただいていたモニタリングは困難であったため、電話にてモニタリングを実施し、支援計画書や報告書を見直している		継続して実施し、入院等で身体機能面に大きく変更があればその都度見直しを実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	昨年度に障害児相談支援事業所を開所してから、数名利用依頼があり、担当者会議を経て利用となっている		継続して担当者サービス担当者会議に積極的に参加し、利用児童の相談支援事業所への介入を増やす
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な児童は在籍しているが、今年度はほとんど利用されなかった。しかし、てんかんや熱発等、急変時に対する対応等を緊急連絡帳やアセスメントに記載いただくことでいつでも対応できるように努めている。		継続して、緊急時の対応をスタッフ同士が共有し、関係機関との連携を深めていく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	吸入が必要な子どもに対して、看護師が保護者、医師に詳細を確認後、医療的ケアを実施している		保護者から緊急連絡カードに主治医を記載いただいております、引き続き実施していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度は他の児童発達支援事業所からの移行支援はなかったが、当事業所で3名、児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行があり、小学校や保護者と連絡を取り、送迎や支援内容の情報共有を行った		今後児童発達支援事業所から移行の依頼があれば、今までの支援内容について詳細に聴取し、スムーズに移行できるような体制を作っていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今年度は3名学校を卒業される児童がおられ、卒業後の進路先を確保し、円滑な移行支援のため、生活介護事業所を令和3年4月1日より立ち上げる予定である		来年度卒業される児童が何人か、在籍しているため、卒業後の事業所へ十分な情報提供を行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修には参加できていないものの、支援センターからの計画書や報告書をコピーさせていただき、スタッフに共有している		外部の施設から紹介される研修等を積極的に受講していく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	普段は各児童がそれぞれ他の学校との交流会などに参加しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、中止となった	はい:3 どちらともいえない:3 いいえ:3 わからない:14	今後事業所として、必要に応じて保育所や児童館と交流していけるような機会を作っていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は新型コロナウイルスの影響により、地域のイベントが中止となり、毎年行っている事業所の遠足も中止となった	チェック項目に記載されていないため、回答なし	新型コロナウイルスの影響が落ち着き次第、イベント等を企画し、実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に受給者証によってかかる利用者負担額についての説明を行い、モニタリングにて報告書とともに支援内容の説明を行っている	はい:19 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1	継続してご不明な点がないよう説明していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書を作成後、保護者に支援内容を説明し、署名、捺印をいただいている	はい:20 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:1	計画書や報告書に対して詳細を丁寧に説明できるよう努めます
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在はまだ実施できていない	はい:9 どちらともいえない:4 いいえ:4 わからない:6	今後保護者学習会等を企画していく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳、モニタリングにて保護者と児童の変化などを連絡し合い、日々やり取りを行っている	はい:22 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	継続して保護者との連絡を密にとり、日々の状況についての共通理解を徹底していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から、当該児童だけでなくその兄弟や姉妹の悩み等についても、状況に合わせて助言や相談を行っている	はい:17 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:2	保護者から相談しやすい環境を作り、適切な対応や助言ができるよう努める
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度も、新型コロナウイルスの影響により延期となった	はい:4 どちらともいえない:3 いいえ:8 わからない:8	今後、新型コロナウイルスの影響が落ち着き次第保護者会を計画し、開催することで保護者動詞の連携をはかる
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作成しており、迅速に対応するよう心掛けている	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:4	継続して適切な苦情措置が行えるよう体制の整備に努める
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児童の障害によって意思疎通や情報伝達の方法を配慮している	はい:19 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1	今後も個々の利用児童または保護者の障害について十分配慮しながら意思の疎通を行っていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していないが、ホームページにて日々の活動や行事の写真などを載せている	はい:9 どちらともいえない:6 いいえ:3 わからない:5	年間予定やその他の案内を必要に応じた形で発信していく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報保護に関する書類を説明した上で、署名・捺印をいただいている	はい:18 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:4	継続して個人情報保護について十分に説明し、署名・捺印を行っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応、防犯、感染症についてマニュアルを作成しており、毎年研修に参加後、職員全員に勉強会を実施し研修記録を残している。	はい:17 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:4	今年度は新型コロナウイルス感染症マニュアルも作成した。保護者より数名「どちらともいえない」や「わからない」との回答があったため、保護者全員に周知徹底を目指す。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	通常は防犯訓練を避難場所の小学校に協力していただき実施しているが、現在新型コロナウイルス感染症の影響で外出や小学校への移動が難しく、計画のみ作成している。	はい:11 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:9	新型コロナウイルス感染症の影響が収まり次第、小学校に協力していただきながら防犯訓練を実施していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修に行った後、その内容を周囲のスタッフに伝え、検討などを年一回以上実施している。		今後も年一回以上の虐待防止研修を徹底し、知識を再確認したり、新しい知識を共有する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない		今後も身体拘束を行う予定はないが、もしもやむを得ない場合があった場合は、十分に保護者の理解を得てから行うよう徹底する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	卵アレルギーのある児童がいるため、他児と一緒に食事する場合、出来る限り距離を離し、常にスタッフが間に入り、間違っって口に入れてしまわないよう見守りを行っている		定期的アレルギー反応が生じた際の対応方法の研修を行い、対応を再確認していく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細なことでもヒヤリハット報告書を記載するようスタッフに周知している		ヒヤリハット事例を増やし、アクシデントが起こる前に未然に防げるよう常に会議などで事例検討を実施する